**いはにをつけましょう**

[06月06日 20時30分]

言葉の色分け言葉の色分けの使い方

になってがくなると、「」になるがくなります。になると、がくなったり、めまいやきがしたりします。ひどいときは、くなることもあります。にならないようにしましょう。

**【にるときにをつけること】** 
いににるときは、しくてをいやすいをるようにしてください。をかぶったり、をさしたりすることもです。そして、のどがいていなくてもをんだり、たくさんがたときにはをったりしてください。

**【にいるときにをつけること】** 
やがいと、のでもになることがあります。くなったの８０％がのでになっていたというデータがあります。にいるときは、エアコンやをってしくしましょう。にはカーテンやすだれをかけて、のがあまりにらないようにしましょう。

**【になったにしてあげること】** 
のようになったがいたら、しいにれてってかせましょう。そして、やわきのなどをたいでやしたり、うちわなどでをったりします。それから、しずつなどをませてください。ひどいときは、すぐににれてきましょう。

**【にどもとお****り****にはをつけましょう】** 
どもはがくて、くなったにいため、にべて３℃くじるとわれています。ベビーカーにっているちゃんはもっとにいため、をつけてください。おりは、さやのどのきをじにくいため、のがりなくなってもでわからないことがあります。どもやおりには、などがをつけてなどをませるようにしましょう。

**【になりやすいと】** 
によると、が２８℃になると、でにばれるがえます。２５℃ぐらいでも、がいとになるがあります。にばれたの２５％は、やにばれています。だけではなくて、があまりがらないときは、でもエアコンやなどをうようにしましょう。

**【テレビやインターネットでをましょう】**
は、がとてもくなりそうなとき「」をして、にをつけるようにいます。のウェブサイトでは、になるをらせる「さ」をることができます。テレビやインターネットなどでをて、にならないようにしましょう。